

ミツバチから見る街の環境

みなさん、はちみつ好きですか？私は大好きです。最近ではいろいろな種類のはちみつが簡単に手に入るようになりました。美容や健康にもよくて、尚且つ料理のちょっとした隠し味などにも、用途は様々になってきています。そのはちみつが、というより、ミツバチが大変な危機に陥っているのはご存知でしょうか？テレビや新聞などで大きく取り上げられたことがあまりないので知らない人も多いと思います。そこで私は調べてみました。

ミツバチは花の蜜を採取し、巣に持ち帰ります。数万匹の働き蜂が一斉に様々な花から蜜を採取しますが、頑張ってもミツバチ一匹が一生のうちに採取できる蜜の量はスプーン一杯分だと言われています。また、ミツバチの行動範囲は半径四キロ圏内と言われており、花の種類が多ければ多いほど蜜は濃厚でとても甘く、量もたくさん取れますが、逆に、少なければ濃厚ではなくなり、量も少量です。

最近、地域住民にとって、住みやすい環境配備が求められ、とても快適に過ごせるようになってきました。土地を開墾し、道路を作ったり、それに合わせてマンションや一戸建てを建てたり。交通量も増え、沢山の人が行き交うようになってきました。しかし、暮らしやすくなったのと反面、生態系が崩されているのはご存知ですか？

ミツバチのことだけを取り上げると、先程も挙げた、ミツバチの行動範囲に花が少ないことです。一概に全くないとは言えませんが、蜜を採取し、はちみつを作るという過程においてみるとミツバチにとっては死活問題です。もともと巣があった場所のそばに自然が沢山あったとしても、人間の手によってその自然を奪われ、その地にコンクリートの塊を建てつけられ、最終的には一気に今までの採取量の大幅を占めていたものまでもが忽然と消え去ります。都会になってくると、水質汚染や大気汚染によって植物が枯れています。植物だけではなく、生き物にも影響をきたしています。

また、近年日本をはじめとしたアメリカやカナダ、ヨーロッパなどでミツバチの数が年々世界的に減少してきています。その原因として挙げられているのが今やクロロニコチニル系の農薬殺虫剤の総称として世界各地に販売されている『ネオニコチノイド』と呼ばれるものです。人など哺乳類には比較的毒性は低いとされていますが、ミツバチには毒性を發揮します。ネオニコチノイドは微量でもミツバチに大きな影響を与え、方向感覚が無くなったり、帰巢することができなくなり、ひどい場合には死に至ります。ヨーロッパでは既に使用禁止になっていますが、日本はまだ使用しています。これもまた人間の住みや

すい環境を追求するあまりに起きてしまった弊害です。はたしてそれは、人間にとって住みやすい環境なののでしょうか？

私たちは、はちみつを食べます。おそらく、ほとんどの人がこの現状も知らずに口に入れているのだと思います。私も、このことを調べるまでは全く知らないで食べていました。

「美味しく健康に良くて簡単に手に入る」その言葉は私の頭の中に昔からあります。その言葉をこれからの未来に末永く伝えるためには、私たち人間の努力にあると思います。今まで無自覚に壊してきた自然をいかに元に戻していくか。何年、何十年と長い長い年月を必要とするでしょう。その年月を私たち人間が何をすべきなのか。それをしっかりと見極めることが大事なのだと思います。

木を植え、花を育てる。単純な作業です。ですが、水や空気を綺麗にし、有害な農薬、殺虫剤を使うことをやめるなどは気の長くなるようなことです。農業の分野で無農薬が最近脚光を浴び始めています。しかし、まだ全てが無農薬になっているわけではありません。農薬を使っているところがほとんどです。みんなが快適に過ごせて動物たちと共存することができる。その環境が人間の住みやすい環境だと思います。科学が発達しても自然を身近に感じることができるような環境作りがミツバチたちを救う大きな一歩になるのでは、と調べていくうえで私は感じました。